

令和5年の実績～線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ～

- 気象庁では、令和4年6月より、線状降水帯による大雨の可能性がある程度高いことが予想された場合、半日程度前から「線状降水帯」というキーワードを使ってその旨を呼びかけている。
- 線状降水帯は予測が難しい現象であることから、現状では、「〇〇地方」といった広域での呼びかけを行っている。
- 線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけを実施したとき、実際に大雨となる可能性が高いことから、**この呼びかけが行われたときは、大雨災害への心構えを一段高めていただくことが重要である。**

運用開始前の想定 (令和元年～3年の データから検証)	令和5年 (9月1日時点)
線状降水帯発生の呼びかけ「あり」 のうち 線状降水帯の発生「あり」	4回に1回程度
線状降水帯発生の呼びかけ「なし」 見逃し	17回中8回

線状降水帯の発生「あり」

のうち
線状降水帯発生の呼びかけ「なし」

見逃し

線状降水帯の発生「あり」

のうち
線状降水帯発生の呼びかけ「なし」

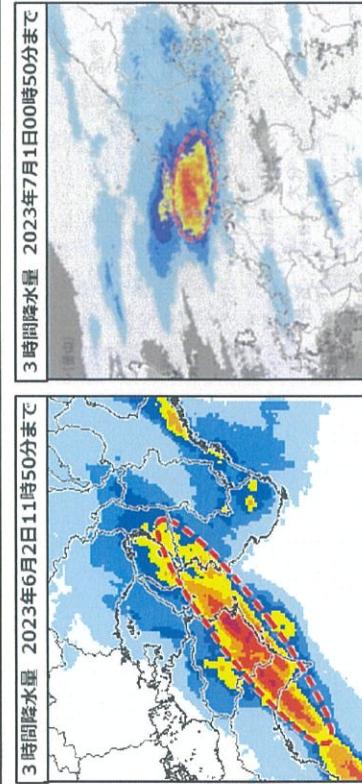
3回に2回程度

18回中10回

- 線状降水帯発生の呼びかけを行った17回中、実際に線状降水帯が発生したのは8回であるが、それ以外にも、

・ 3時間降水量が150mm以上となつた事例が3回

- 線状降水帯の発生をお知らせする「顕著な大雨に関する気象情報」は、現在、10分先、20分先、30分先のいずれかにおいて、以下の基準をすべて満たす場合に発表します。（令和5年5月25日以降）
 - ① 前3時間積算降水量（5kmメッシュ）が100mm以上の分水域の面積が500km²以上
 - ② ①の形狀が線状（長軸・短軸比2.5以上）
 - ③ ①の領域内の前3時間積算降水量最大値が150mm以上
 - ④ ①の領域内の土砂災害（大雨警報・土砂災害）の危険度分布（において土砂災害警報情報の基準を超過（かつ大雨特別警報の土壤雨量指數基準値への到達割合8割以上）又は洪水キックル（洪水警報の危険度分布）において警報基準を大きく超過した基準を超過）



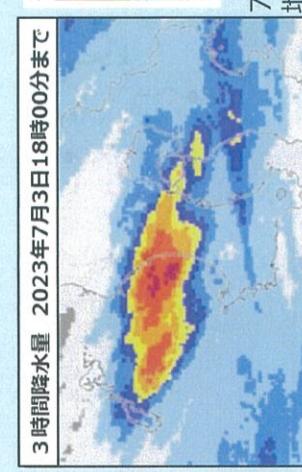
6/2近畿地方における例



田第 346 号 計

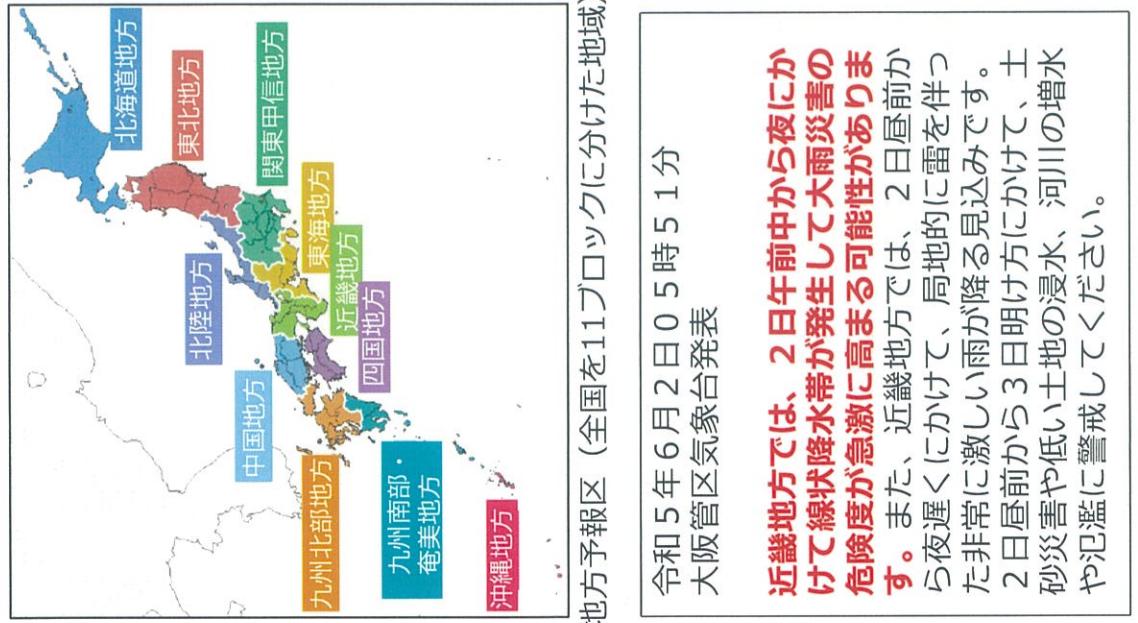


7/3九州南部・奄美
地方における例



線状降水帯の発生に
至らなくても大雨
(3時間降水量が
150mm以上)
なつた事例

令和5年の実績～線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ～



線状降水帯の発生日※1	地方予報区	線状降水帯の発生状況	呼びかけ状況	3時間降水量 最大値※2
3月22日	沖縄地方	線状降水帯が発生 (沖縄県)	呼びかけできず	
6月2日	中国地方	線状降水帯は発生せず	呼びかけを実施	約190ミリ
	四国地方	線状降水帯が発生 (高知県)	呼びかけを実施	約60ミリ
	近畿地方	線状降水帯が発生 (和歌山県、奈良県)	呼びかけを実施	約200ミリ
	東海地方	線状降水帯が発生 (三重県、愛知県、静岡県)	呼びかけを実施	約170ミリ
6月2日～3日	関東甲信地方	線状降水帯は発生せず	呼びかけを実施	約170ミリ
6月19日	九州南部・奄美地方	線状降水帯が発生 (鹿児島県)	呼びかけできず	約120ミリ
6月20日	九州南部・奄美地方	線状降水帯が発生 (鹿児島県)	呼びかけできず	約170ミリ
6月30日～	九州南部・奄美地方	線状降水帯は発生せず	呼びかけを実施	約250ミリ
7月1日	九州北部地方	線状降水帯が発生 (山口県)	呼びかけを実施	約130ミリ
7月2日	九州南部・奄美地方	線状降水帯が発生 (鹿児島県)	呼びかけできず	約160ミリ
7月3日	九州北部地方	線状降水帯が発生 (熊本県)	呼びかけできず	約250ミリ
7月3日～4日	九州南部・奄美地方	線状降水帯は発生せず	呼びかけを実施	約200ミリ
7月8日	中国地方	線状降水帯が発生 (島根県)	呼びかけできず	約170ミリ
7月10日	九州北部地方	線状降水帯が発生 (福岡県、佐賀県、大分県)	呼びかけできず	約160ミリ
7月12日～13日	北陸地方	線状降水帯が発生 (石川県、富山県)	呼びかけできず	約190ミリ
8月6日	沖縄地方	線状降水帯が発生 (沖縄県)	呼びかけを実施	約200ミリ
8月5日～8日	九州南部・奄美地方	線状降水帯は発生せず	呼びかけを実施	約140ミリ
8月9日～10日	九州南部・奄美地方	線状降水帯が発生 (鹿児島県、宮崎県)	呼びかけを実施	約130ミリ
8月9日～10日	九州北部地方	線状降水帯が発生 (熊本県、大分県)	呼びかけを実施	約190ミリ
8月10日	四国地方	線状降水帯が発生 (高知県、愛媛県)	呼びかけできず	約150ミリ
8月12日	東北地方	線状降水帯が発生 (岩手県)	呼びかけできず	約180ミリ
8月15日	四国地方	線状降水帯は発生せず	呼びかけを実施	約150ミリ
	中国地方	線状降水帯が発生 (鳥取県、岡山県)	呼びかけを実施	約100ミリ
	近畿地方	線状降水帯は発生せず	呼びかけを実施	約160ミリ
	東海地方	線状降水帯は発生せず	呼びかけを実施	約190ミリ
	関東甲信地方	線状降水帯は発生せず	呼びかけを実施	約90ミリ

※1 線状降水帯の発生がなかった場合は、線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけの対象日。

※2 「顕著な大雨に関する気象情報」の発表基準の1つである前3時間積算降水量最大値が150mm以上を着色。なお、10～30分先に基準を満たすとして同情報を発表した場合、実際には前3時間降水量積算値が150mmに達しないことがあります。

□ 線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけが適中の事例。